

あなたならどうする

今朝のテレビのニュースで驚いたことがある。現東北大学の教授が発明の対価として企業から提示された12億円の受け取りを拒否したのである。思わず「なんでえ」とつぶやいてしまった。

教授本人のコメントはこうである。「私は教授としての給料を大学からいただいているし、今生活に特に困っているわけではない。提示されたお金は私個人が受け取るより、研究施設の充実のために使ってもらったほうが良い。」

テレビのキャスターはいじわるな質問をした。「先生のお考えは分かりましたが、ご家族の反応はいかがでしたか。」教授はすぐに答えた。「家内は激怒しました。でも、私は一研究者として、個人の利益より研究環境が整っていくことの方が大切です。」としめくくった。

世の中には崇高な価値観をもった人間がいるものである。

キャスターの後半の質問はどうでもいいことだが、彼の言葉の中にある『研究』を『教育』に置き換えて自問してみた。しかし、自分にはできそうもない。

ただ、自己弁護するわけではないが、こういう事例もある。

元東芝の社員で現在は某大学の教授がフラッシュメモリー(パソコンの外部記憶装置)の発明の対価として11億円を要求して裁判となった。結果として和解金8700万円が元社員に支払われた。

また、記憶に新しいところでは青色発光ダイオードの発明がある。元日亜化学社員で現在はアメリカの某大学教授が、発明の報酬として当時会社から2万円しか受け取らなかったことを不服として訴えを起こした。判決は200億円を支払えというものだった。その判決の中身がもっとすごい。本来は600億円支払われるべきだが、要求額が200億円なのでその上限としたというのである。結果として和解金8億4000万円が支払われた。

もちろん、個々の価値観をとやかく言うつもりは毛頭ない。ただ、アメリカの某大学教授は次のように言っている。

「野球を志す子どもたちが松井やイチローを目指すように科学(化学)を志す子どもたちにも夢を与えたい。」

さて、私たちはどちらを支持しましょうか。支持することと自分がそうするということはたぶん一致しないだろうが、あなたなら…。